

**製品名: PRDM3 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab16472**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	18kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MECOM
別名	MECOM; MDS1; MDS1 and EVI1 complex locus protein MDS1; Myelodysplasia syndrome 1 protein; Myelodysplasia syndrome-associated protein 1
遺伝子 ID	4197.0
SwissProt ID	Q13465
免疫原	抗血清はヒト MECOM 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 1-50

**背景**

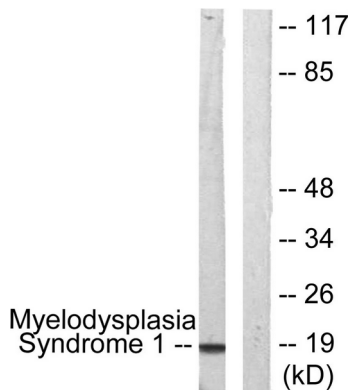
この遺伝子によってコードされるタンパク質は転写調節因子であり、造血、アポトーシス、発生、細胞分化および増殖に関与する可

能性のある腫瘍タンパク質です。コードされるタンパク質は、CTBP1、SMAD3、CREBBP、KAT2B、MAPK8、および MAPK9 と相互作用します。この遺伝子は AML1 遺伝子と転座を起こし、その結果 AML1 遺伝子の過剰発現と白血病の発症を引き起こします。この遺伝子には、いくつかの異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。 [RefSeq 提供、2011 年 3 月]疾患: EVI1 に関連する染色体異常は、慢性骨髄性白血病 (CML) の原因です。 RUNX1/AML1 との転座 t(3;21)(q26;q22)。,疾患: 急性骨髄性白血病 (AML) の一種において、MDS1 に関連する染色体異常が認められる。 AML1 との転座 t(3;21)。,その他: 独立した転写産物として、または EVI1 との通常の融合転写産物として産生される。 ,PTM: DNA 損傷時にリン酸化される。おそらく ATM または ATR による。 ,類似性: 10 個の C2H2 型ジンクフィンガーを含む。 ,サブユニット: CTBP1 と相互作用する可能性がある。 ,

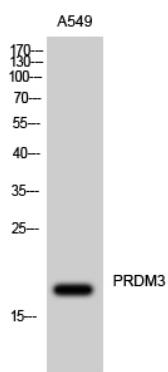
## 研究分野

MAPK\_ERK\_Growth;MAPK\_G\_Protein;がんにおける経路;慢性骨髄性白血病;

## 画像データ



A549 細胞ライセートの骨髄異形成症候群 1 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



PRDM3 ポリクローナル抗体を使用した A549 細胞のウェスタン ブロット分析。